

大和駅周辺 未来ビジョン

最初の一歩を動かすためのベータ版

大和駅前みらい実現プロジェクト

この冊子は、
大和駅周辺エリアに関わる様々な人が、
立場や関心の違いを越えて、
大和駅周辺のまちなかがワクワクする未来に向け、
一緒に考え、動き出すための最初の一歩として作成しました。

完成形ではなく、
まずは「こんな姿を描けたらいいな=未来ビジョン」
という想いを共有するためのたたき台（ベータ版）です。

この冊子を片手に、
みんなで未来に向けた話し合いを始めましょう！



この冊子に書かれていること

第1章 はじめに

- 1-1 なぜ今、「大和の未来」考えるのか
- 1-2 キーワードは公民連携まちづくり
- 1-3 公民連携まちづくりを進めていくために
- 1-4 未来ビジョンベータ版ができるまで

第2章 ワクワクする未来に向けて

- 2-1 将来に向けたコンセプト ～活動を進めていく上での理念～
- 2-2 4つの柱と取組方針
- 2-3 大和駅周辺のワクワクする未来の姿のイメージ

第3章 未来ビジョンの策定に向けて

- 3-1 エリアプラットフォームの役割と取組姿勢
- 3-2 エリアプラットフォームの体制
- 3-3 ロードマップ
- 3-4 アクションプログラムの種



わたしたちの対象フィールド

この未来ビジョンでは、大和駅を中心に、おおよそ半径500mの範囲を「大和駅周辺エリア」と捉え、主な対象エリアとします。

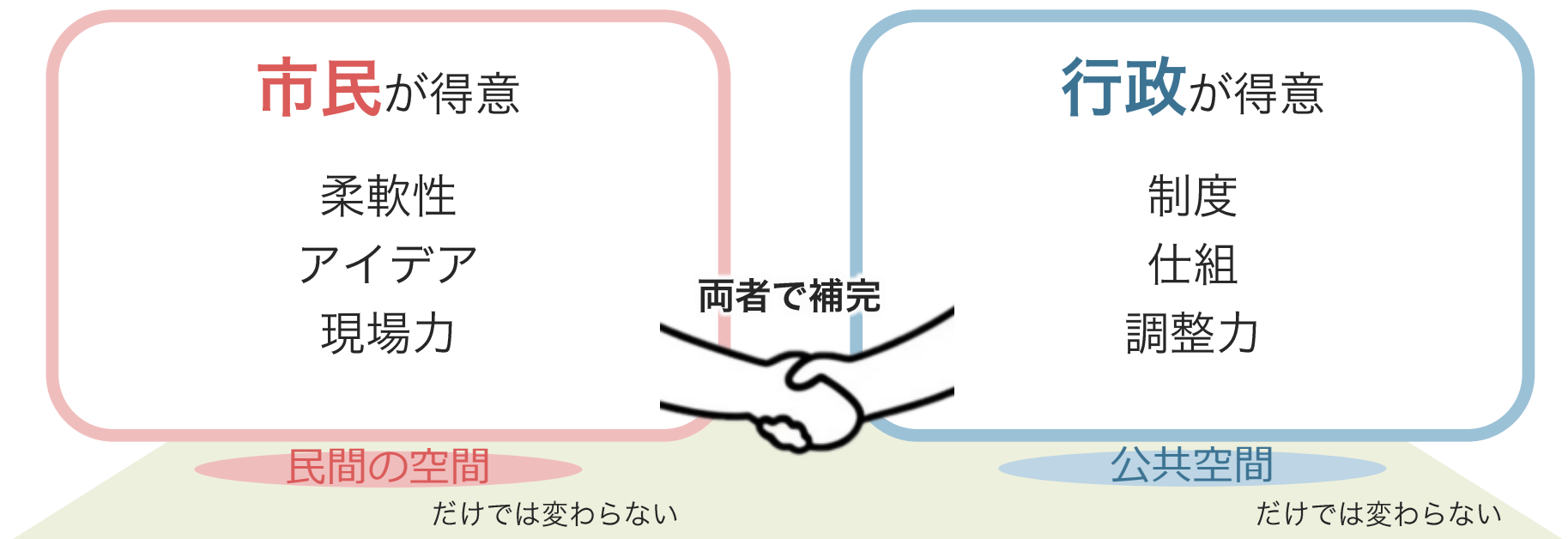
ただし、ふれあいの森や泉の森、ベテルギウス、国際園芸博覧会会場となる旧上瀬谷通信基地跡地など、エリアの範囲を超えて点在する拠点や地域資源とのつながりにも目を向け、大和駅を核とした広がりのあるネットワークを意識しながら検討を進めていきます。



1-2 キーワードは公民連携まちづくり

まちの将来を考えると、行政だけでも、民間だけでも、できることには限りがあります。日々の暮らしを支える商店や企業、地域で活動する人々、そして行政が力を合わせることで、より豊かで持続可能なまちを育てていくことができるのです。

そのため、私たちはそれぞれが持つ強みを活かしあい、まちを“誰かがつくる”のではなく、“みんなで育てていく”、公民連携によるまちづくりを進めていきます。



民間の空間と公共空間の一体的な活用でエリアとしての面的な魅力とまちなかの回遊性が高まる

これが公民連携まちづくり！！

1-3 公民連携まちづくりを進めていくために

その1

大和駅周辺に関わる人たちが連携し、
エリアの将来像やその実現方策を話し合い、実践する場（＝エリアプラットフォーム）として
「大和駅前みらい実現プロジェクト（通称：大和みらプロ）」を立ち上げます。

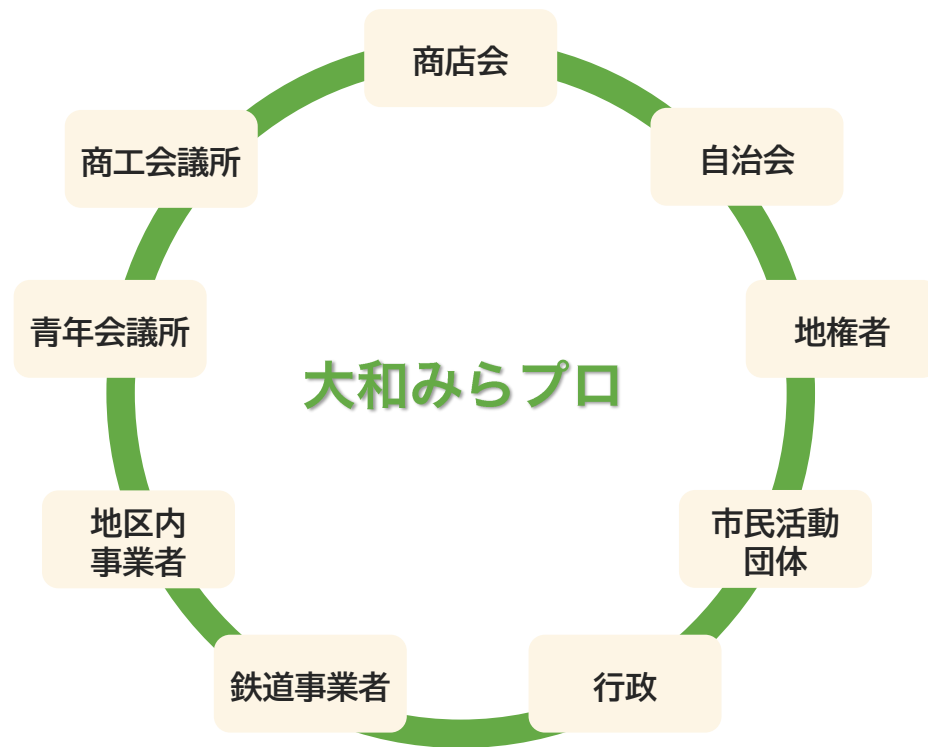
なぜエリアプラットフォームが必要なのか？

大和駅周辺には、複数の商店会や自治会があり、それぞれが地域に根ざした活動を続けてきました。こうした取組みは、大和の大きな資源であり強みです。

一方で、活動が点在しているため、エリア全体としての魅力や動きにつながりきっていない側面もあります。

また若い世代や関心のある人たちを幅広く巻き込み、実行力を高めていくことも、これからの大和には欠かせません。

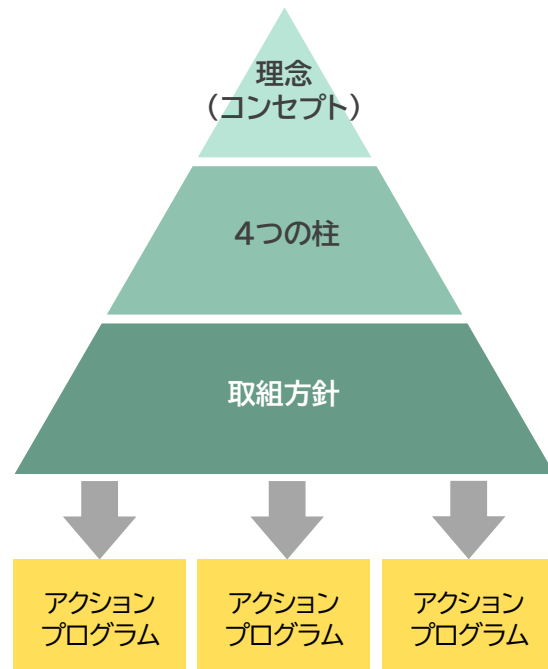
そのため、様々な人や取組みをつなぎながら、まちを動かす原動力として、話し合いと実践する場（＝エリアプラットフォーム）が必要と考えています。



その2

大和駅周辺エリアに関わる様々な人が、それぞれの立場や関心の違いを越えて、ワクワクする未来を描き、その実現に向けた活動方針等をまとめた「未来ビジョン」をつくっていきます。

■未来ビジョンのイメージ



この冊子では、ココを整理！

活動の核となる理念、4つの柱、取組方針までを未来ビジョンの「ベータ版」としてまとめたものがこの冊子です。

今後、この冊子を片手に「こんな姿を描けたらいいな」という想いを共有し、具体的な活動のイメージを深め、正式な「未来ビジョン」としてとりまとめていきます。

なぜ未来ビジョンが必要なの？

まちの未来は、関わる人それぞれの想いが重なり合いながら、少しずつ形づくられていくものです。そうした多様な想いを受け止め、同じ方向を見ながら進んでいくための手がかりとなるのが、未来ビジョンです。

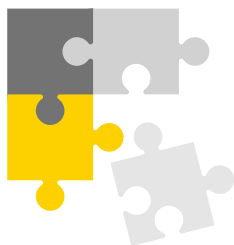
未来ビジョンは、作って終わりのものではありません。仲間を少しずつ増やししながら、時には立ち止まって振り返り、時代や状況の変化に応じて見直しを重ねながら、活動を進めていくための土台となります。

みんなの想いのピースを集めたパズルのような役割

住む人、働く人、生業をする人など、それぞれの立場によって、まちに対して発揮できる力や視点は異なります。

未来ビジョンは、こうした一人ひとりが持つ力や想いを束ね、大和駅周辺エリアの将来像を示すものです。

ばらばらに存在していた想いのピースを組み合わせ、一つの未来図として描く、パズルのような役割を果たします。



新たな仲間を増やす関わり方の入口のような役割

未来ビジョンを実現していくためには、共感する仲間を増やし、多くの人に関わっていくことが欠かせません。

未来ビジョンを広く共有することで、大和駅周辺に関心を持つ人の輪を広げていくことができます。

関わってみたい、参加してみたいと感じた人が、自分なりの関わり方を見つけていくための入口としての役割を果たします。



活動の道しるべとなる地図のような役割

多様な主体や行政が関わる大和駅周辺では、考え方や優先したいことが異なる場面も少なくありません。

未来ビジョンは、そうした違いを前提にしながら、同じ方向に向かって取り組みを進めていくためのよりどころとなります。

活動の進め方や判断に迷ったときに立ち返り、確認できる地図のような役割を果たします。



1-4 未来ビジョンベータ版ができるまで

この未来ビジョンベータ版は、様々な人たちとの対話を重ねながら、検討を進めてきたものです。

図書館の道 休息スペースの設置

休日に図書館の道において休息スペースを設置する社会実験を実施しました。



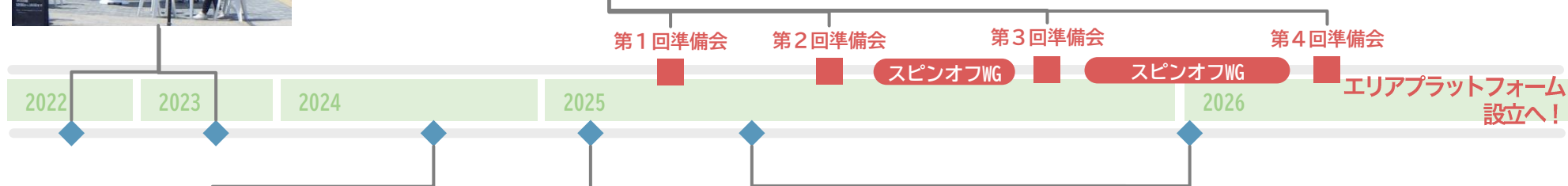
大和駅周辺エリアプラットフォーム準備会

エリアプラットフォームの中心を担う商店会、自治会、商工会議所や青年会議所などの地域団体、地区内事業者、行政が参加し、準備会を重ねてきました。



スピノフワーキングの実施

若手メンバーを中心とした会議で、具体的な未来ビジョンの内容の詰めや、エリアプラットフォーム設立に向けた体制や名称検討などを進めてきました。



ヤマトンのおたずね行脚

大和駅周辺の魅力や課題を把握するため、まちなかに飛び出しニーズ調査を行いました。



まちなかワークセッション

公民連携まちづくり検討の第一歩として、一般財団法人柏アーバンデザインセンター副センター長の安藤哲也氏をゲスト講師に迎えシンポジウムを開催しました。



大和駅周辺のこれからの考えるみんなで会議

大和駅周辺に想いのある人同士がつながり、まちに対する想いや未来のアイデアを出し合うオープン型ワークショップを開催しました。



これまでに挙げた、これからの大和を考えていく上で大切な視点

準備会やワークショップを通して、大和駅周辺についてさまざまな意見や気づきが共有されてきました。これらは、未来の大和を考えるうえでの大切な視点となります。

プロムナードを、 もっと使いこなせる場所に

プロムナードは大和駅周辺を象徴する空間として、多くの人が可能性を感じています。

一方で、気候への対応、休憩できる場所の少なさ、周辺への広がりにくさなど、日常的な使われ方には工夫の余地があるという声も聞かれました。

通るだけでなく、立ち止まり、周辺へと広がっていく起点としての活かし方に期待が高まります。

駅とまちの拠点を、 もっと自然につなげたい

シリウスややまと公園など、魅力的な場所が点在している一方で、その間をつなぐ道中がもっと楽しくなると良いといった意見がありました。

拠点同士をつなぎ、人の動きが自然に回っていくような工夫が求められています。

これからもイベントや活動を、 続けていくための土台づくり

イベントを行うなかで感じてきた、空間の使い方や運営面での工夫、住民との調整など、実務的な声も多く出ました。

やりたいことを無理なく続けていくための環境づくりが重要だと考えられています。

日常のにぎわいが 感じられるまちでありたい

イベントのときだけでなく、普段から人の動きや気配が感じられることを大切にしたい、という声がありました。

昼間に開いている店の少なさや、若い世代にとって魅力的な場づくりなどが課題としてもあがっています。

関わりたい人が 一歩踏み出せる入口づくり

学生や、まちづくりに関心のある人が、気軽に関われる入口があるとよい、という声もありました。

イベントや日常の場をきっかけに、関心を行動につなげていく仕組みづくりが求められています。

子育て世代にやさしいまちなかに

子育て世代が暮らしやすく、親子で一日過ごせる場所がまちなかにあることへの期待が挙がっています。

ベビーカーでも移動しやすいゆとりある歩行空間や、気軽に立ち寄れる居場所づくりが、日常の利用を支える視点として共有されました。

新しい人の流れを 大和を知ってもらおうきっかけに

交通利便性の向上や今後の大きなイベントをきっかけに、大和駅周辺には新たな人の流れが生まれる可能性があります。

その流れを駅周辺の魅力につなげ、大和を知ってもらう入口として活かしていく工夫が求められています。

夜の時間帯も、安心して過ごしたい

夜の雰囲気や治安に対する不安の声がある一方で、夜ならではの楽しさやにぎわいを前向きに捉える意見もありました。

誰にとっても過ごしやすく、安心感のある夜のまちのあり方に関心が高まります。

2-1 将来に向けたコンセプト ～活動を進めていく上での理念～

つながる駅前、ひらく未来

～大和だヨ、全員集合！～

大和駅周辺には、プロムナードや文化創造拠点シリウス、個性ある商店街、やまと公園など、人が集い、行き交う魅力的な場所が点在しています。

また、神奈川大和阿波おどりや神奈川やまと古民具骨董市など、さまざまなイベントがこのまちを舞台に開催され、にぎわいととも到大和の歴史や文化が育まれてきました。さらに、近年は交通の利便性も高まり、新たな人の流れも生まれつつあります。

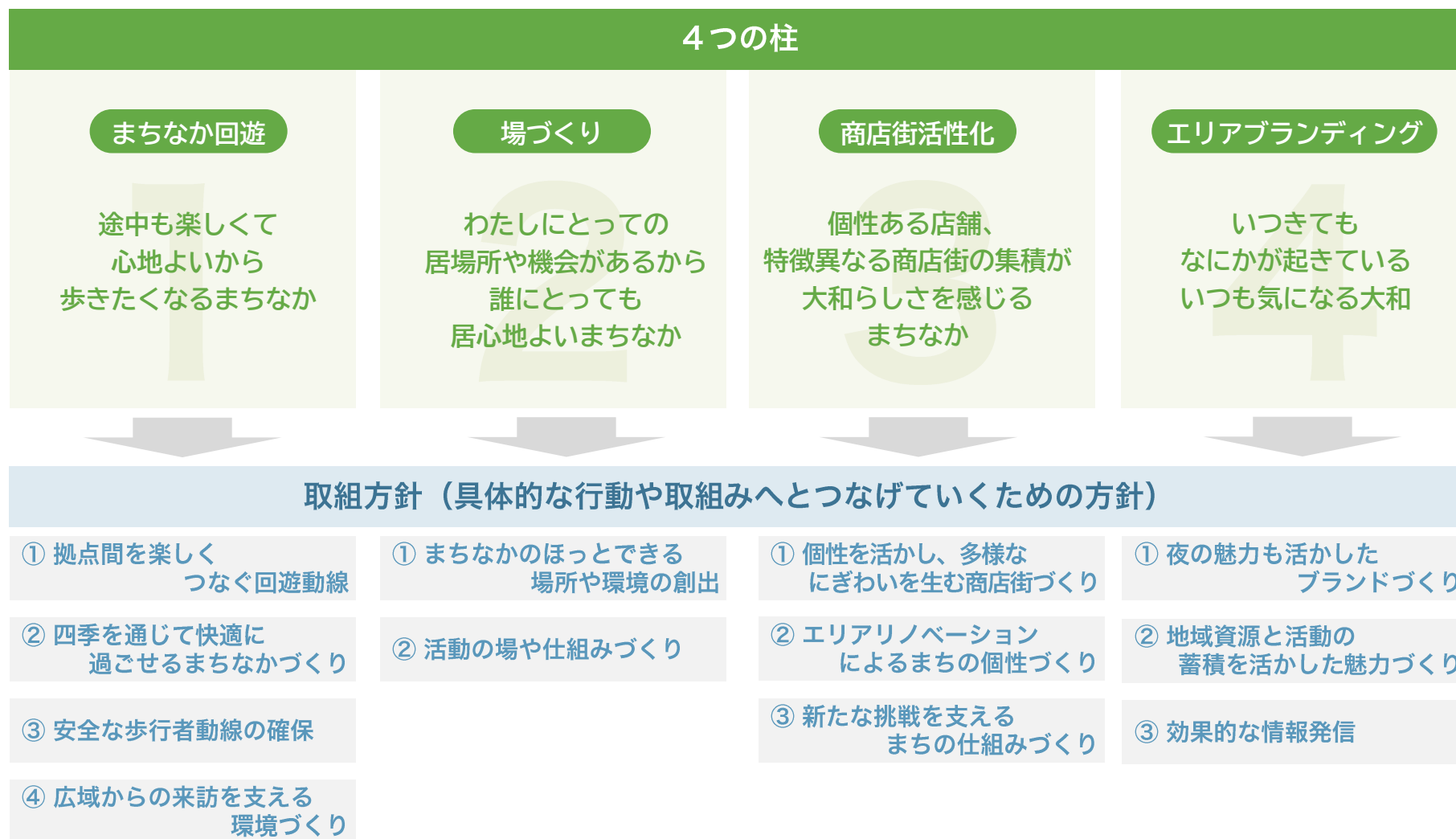
こうしたまちなかに点在する資源や活動中心に、人と人、場所と場所、活動と活動をつながながら、みんなで楽しく活動していくことで、大和の新しい魅力や可能性は広がっていきます。

大和だヨ、全員集合！

この言葉を合言葉に、多くの人が集い、関わり合いながら、みんなで楽しく大和の未来をひらいていきましょう。

2-2 4つの柱と取組方針

ワクワクする未来に向けた基本的な方針として4つの柱を掲げます。さらに、柱ごとに具体的な取組方針を整理します。ベータ版では、これまでの検討で上がってきたアイデアを「例えばこんなこと！」として整理し、今後、具体的な活動を詰めていく上でのヒントとしていきます。



途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

大和駅周辺は、商店街や公共施設、公園など、様々な拠点がコンパクトに集まるまちです。その一方で、場所ごとのつながりや歩きやすさには、まだ改善の余地があります。

そのため、拠点と拠点を楽しくつなぐ歩行空間を整え、まちなかを歩くだけで気持ちよく過ごせるような環境づくりを進めることで、「歩くことそのものが楽しい」と感じられるまちを目指します。

取組方針

① 拠点間を楽しくつなぐ回遊動線

② 四季を通じて快適に過ごせるまちなかづくり

③ 安全な歩行者動線の確保

④ 広域からの来訪を支える環境づくり

4つの柱

1

途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

取組方針①

拠点間を楽しくつなぐ回遊動線

商店街やシリウスをはじめとする公共施設、公園など、大和駅周辺の様々な拠点をつなぐ歩行空間を整えて、楽しく、心地よく歩ける回遊動線づくりを目指します。

例えばこんなこと！

- ・ 図書館の道のシンボルロード化（沿道建物のオープン化など）
- ・ ふれあいの森・泉の森、引地台公園等、エリアの周辺拠点までのアプローチ
- ・ 店先空間の活用による滲み出しのある商店街づくり
- ・ 商店街等、歩行者メインのストリートでの舗装の高質化
- ・ かんざし通りの整備
- ・ 歩いて楽しい街並みづくり

活動のヒント

図書館の道での休息スペースの設置
(令和4年度社会実験)



沿道店舗の道路空間への滲みだし
(広島県福山市)



途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

取組方針②

四季を通じて快適に過ごせるまちなかづくり

近年の夏季における厳しい暑さに対応するため、みどりや木陰に加え、シェードやオーニングなどの人工的な日除け、クールスポットなどさまざまな工夫を重ね、涼しく快適に過ごせるまちなかを目指します。

例えばこんなこと！

- ・東側プロムナード（図書館の道）での日陰づくり
- ・みどりの比較的多い西側プロムナード（なでしこの道）の魅力向上
- ・沿道商店街でのオーニングの設置
- ・泉の森など自然資源の活用

活動のヒント

日除けシェードによる屋外空間の暑さ対策
(神戸市東遊園地)



雨や暑さが凌げる屋根のある歩行スペース
(横浜駅)



4つの柱

1

途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

取組方針③

安全な歩行者動線の確保

駅周辺の拠点を結ぶ道路や歩行者交通量の多い通りについて、ベビーカーや車いすでも安心して歩けるよう、安全で快適に、ゆとりをもって楽しく歩ける歩行環境の向上を図ります。

例えばこんなこと！

- ・やまと公園までの安全な歩行者動線の確保
- ・プロムナードにおける自転車対策
- ・ゆとりある歩行空間の確保（歩車道の幅員再配分や舗装の高質化）

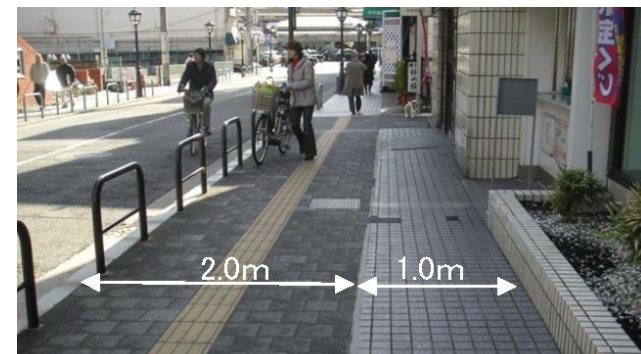
活動のヒント

歩道の拡幅による安全でゆとりある歩行者空間の確保（神戸市葺合南54号線）



出典：神戸市ウェブサイト
(https://www.city.kobe.lg.jp/a55197/kobe_vision_fukiainami54.html)

歩道と民地が一体となった歩行空間の整備（鎌倉市）



出典：国土交通省ウェブサイト
(https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/bf/design_activities/pdf/jirei04.pdf)

途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

取組方針④

広域からの来訪を支える環境づくり

大和駅周辺からほど近い横浜市上瀬谷地区で開催される国際園芸博覧会及びその後のKAMISEYA PARK（仮称）の整備によって広域からの来訪者の増加が見込まれることを踏まえ、広域から大和駅周辺へ訪れやすく、過ごしやすいまちを目指します。

例えばこんなこと！

- ・ KAMISEYA PARK（仮称）とのアクセスのあり方検討
- ・ シェアサイクルや次世代モビリティの誘導
- ・ 周辺拠点等へのサイン設置
- ・ 広域からの来訪者のための施設の誘導（宿泊施設等）

活動のヒント

シェアサイクルや次世代モビリティの誘導
（「2040年、道路の景色が変わる」国土交通省）



出典：国土交通省ウェブサイト（<https://www.mlit.go.jp/road/vision/index.html>）

ハードとソフトの仕掛けで駅と周辺拠点をつなぐ
社会実験の実施（千葉市中央公園プロムナード）

The poster provides details for a social experiment event. It includes the dates 2025.10.24 (Fri) and 25.10.26 (Sun), with a QR code for registration. Activities listed include a workshop, a mobility trial, and a robot demonstration. A map shows the location at Chiba City Central Park Promenade. The event is organized by Chiba City and is part of a social experiment to improve the connection between the station and surrounding areas.

出典：千葉市ウェブサイト（<https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/tyuupuroyakai/jikkenn.html>）

4つの柱
2わたしにとっての居場所や機会があるから
誰にとっても居心地よいまちなか

大和駅周辺がより多くの人を引き付ける、魅力あるまちであるためには、様々な世代・立場の人々が、それぞれに居心地の良い場所や、自分らしく楽しめる活動の機会があることが必要です。

ほっとできる、わくわくできる場所や機会がまちの中に増えていくことで、まちへの愛着が育まれ、住み続けたい、将来また戻りたいと思える大和駅周辺を目指します。

取組方針

① まちなかのほっとできる場所や環境の創出

② 活動の場や仕組みづくり

4つの柱
2

わたしにとっての居場所や機会があるから 誰にとっても居心地よいまちなか

取組方針①

まちなかのほっとできる場所や環境の創出

散歩や買い物の途中の休憩スポット、子育て中の皆さんが集まれる場所など、様々な世代・立場の人それぞれにとって大和駅周辺のまちなかでほっとできる場所や環境を創出します。

例えばこんなこと！

- ・プロムナードでの休憩スポットづくり（イス、芝生化など）
- ・子育てにやさしい環境づくり
- ・世代を問わず交流・活動できる仕掛け

活動のヒント

やまフェス2025でのプロムナード芝生化
(みんなのやまとフェスティバル実行委員会)



地域の人が集まる拠点づくり
(南万騎が原駅みなまきラボ)



出典：オンデザインウェブサイト (<https://www.ondesign.co.jp/works/article.html?v=e-533sbwi>)

4つの柱
2わたしにとっての居場所や機会があるから
誰にとっても居心地よいまちなか

取組方針② 活動の場や仕組みづくり

大和駅周辺をフィールドに、世代や立場をこえて誰もが自分らしく活動できるよう、活動の場と仕組みを整えることで、にぎわいと魅力のあるまちの形成を図るとともに、地域への愛着と持続的に活動へとつなげていきます。

例えばこんなこと！

- ・プロムナードをより広く活用できる仕組みづくり
- ・活動に誰でも参加できる仕組みづくり
- ・まちの活動の可視化
- ・若者の参加の機会の創出

活動のヒント

エリアマネジメント団体による公共空間の
貸し出し業務と活用ルール作成（狛江駅前）



まちの活動に誰でも気軽に参加できる仕組み
（甲府まちなかパートナーズ）



出典：甲府まちなかエリアプラットフォームウェブサイト
(<https://kofu-machinaka-ap.com/partners/>)

4つの柱
3

個性ある店舗、特徴異なる商店街の集積が 大和らしさを感じるまちなか

大和駅周辺はあまり大きな店舗はありませんが、誰もが安心して利用できるチェーン店と小さくても個性のある店がバランスよく点在しています。

それぞれの特徴を生かしつつ、さらに個性ある店舗が生まれることで、各商店街がそれぞれの特徴をもって発展していくことを目指します。

取組方針

① 個性を活かし、多様なにぎわいを生む商店街づくり

② エリアリノベーションによるまちの個性づくり

③ 新たな挑戦を支えるまちの仕組みづくり

4つの柱
3個性ある店舗、特徴異なる商店街の集積が
大和らしさを感じるまちなか

取組方針①

個性を活かし、多様なにぎわいを生む商店街づくり

昼間に若者が集まり、夕方に買い物客でにぎわい、夜には大人の時間が流れ、休日には家族連れが楽しみ、イベントの時には商店街全体で盛り上がるなど、エリアごとの個性を活かしながら、世代や立場、時間帯をこえて楽しめる魅力ある商店街の形成を図ります。

例えばこんなこと！

- ・エリアごとの特徴づくり（機能誘導、景観づくりなど）
- ・様々な世代ニーズに応えた魅力的な店舗の誘致
- ・日中も活気のある商店街づくり
- ・まちなかでのイベント時の商店会連携

活動のヒント

時間帯通行規制により道路空間を活用した商店街イベント（北九州市魚町サンロード商店街）



出典：内閣府ウェブサイト (<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/taidan09.html>)

チェーン店ばかりではなく、創業支援とセットで個人商店を誘致（下北沢駅BONUS TRUCK）



4つの柱
3

個性ある店舗、特徴異なる商店街の集積が 大和らしさを感じるまちなか

取組方針②

エリアリノベーションによるまちの個性づくり

建物のリノベーション（改装）などを通じて、古き良き時代の味わいを残しながら時代のニーズに応じた感性で新たな魅力を生み出し、新たな生業やチャレンジの受け皿として点での更新を進め、それをエリア全体の活力へと波及させ、個性と魅力あふれる街並みの形成を図ります。

例えばこんなこと！

- ・昭和レトロの継承
- ・空き店舗などのリノベーション推進

活動のヒント

小商い（スモールビジネス）の拠点として
まちなかの空きビルを暫定活用（沼津市）



出典：沼津市ウェブサイト
(<https://city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/various/machinaka/modelcase2.html>)

商店街の店主が集まり、これからの商店街に
ついて考える機会づくり（沼津市）



出典：沼津市ウェブサイト (<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/renovation/kigyou/agettsuchi10/>)

4つの柱
3個性ある店舗、特徴異なる商店街の集積が
大和らしさを感じるまちなか

取組方針③ 新たな挑戦を支えるまちの仕組みづくり

若い世代を中心とした新たな事業者や商業者が生業に挑戦しやすい環境を整え、まちの新陳代謝を促すとともに、先輩事業者との切磋琢磨を通じて大和駅周辺全体の活性化を図ります。

例えばこんなこと！

- ・スタートアップ人材と商店街の空き店舗とのマッチング
- ・空き店舗の暫定利用によるチャレンジ拠点の創出

活動のヒント

まちなかの空き家や空き店舗と創業者をマッチング（前橋マチスタント）



出典：前橋市ウェブサイト
(<https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/sangyokeizai/nigiwaishogyo/gyomu/03/28116.html>)

いつきてもなにかが起きている いつも気になる大和

現在の和歌山駅前周辺はさまざまなイベントが開催されています。これをさらに推し進め、いつ来ても何かがやっている、来るたびに新しい発見があるような期待感をもたらしてくれるようなまちを目指します。

また、和歌山駅前周辺のイメージ向上を図るとともに、その魅力をより効果的に、より広く伝えていく取組みを進めます。

取組方針

① 夜の魅力も活かしたブランドづくり

② 地域資源と活動の蓄積を活かした魅力づくり

③ 効果的な情報発信

4つの柱

4

いつきてもなにかが起きている いつも気になる大和

取組方針①

夜の魅力も活かしたブランドづくり

大和駅周辺には夜の営業を中心とした飲食店が多く分布しています。これを「大人の時間が流れるまち」として積極的に活かしながら、地域の個性としての魅力を磨き、誰もが安心して過ごせるまちのブランド形成を図ります。

例えばこんなこと！

- ・安心して夜も歩ける街路・照明整備
- ・夜市やイベント開催による幅広い世代の集客
- ・悪質な客引き対策

活動のヒント

歩道のライトアップによる安全なストリートづくり（静岡県草薙ライトアップ社会実験）



出典：草薙カルテッドウェブサイト (<https://kusanagiculted.or.jp/>)

地域のお店や生産者を中心とした出店がならが夜市マーケット（藤沢駅「MARKET251」）



いつきてもなにかが起きている いつも気になる大和

取組方針②

地域資源と活動の蓄積を活かした魅力づくり

これまでに育まれた大和駅周辺での活動や文化を活かし、イベントの継承やテーマ性のある場づくり、まちをきれいにする取組みなどの様々な活動を通じて、新たな魅力を生み出し、まちの知名度とイメージの向上を図ります。

例えばこんなこと！

- ・ 歴史的なイベントの継承
- ・ 365日イベントがあるまちとしての仕掛けづくり
- ・ テーマ性のある場づくり（本、シャボン玉など）
- ・ きれいなまちに向けた取組み（ポイ捨て対策など）

活動のヒント

神奈川大和阿波おどりなど
大和駅周辺で親しまれるイベントの継承



やまフェス2025におけるプロムナードでの
シャボン玉ショー



4つの柱
4

いつきてもなにかが起きている いつも気になる大和

取組方針③

効果的な情報発信

大和駅周辺の魅力、様々な活動やイベントなど、まちに関する情報を効果的に発信することで、より多くの人々にこのまちの魅力を知ってもらい、来街者を増やすことを目指します。

例えばこんなこと！

- ・壁面を活用したサイネージなどによる情報発信
- ・ターゲットを明確にしたシティプロモーション
- ・地区で活動する人たちとの連携による情報発信

活動のヒント

イメージからの脱却を狙うコピーによるプロモーションで若年層をキャッチ（「意外と熱海」）



出典：熱海市観光協会ウェブサイト（<https://www.igaitotami.com/>）

多くの人が行き交う屋外でのミーティングやアイデアトークによる活動周知



出典：国土交通省ウェブサイト（<https://hokomichi.mlit.go.jp/post-358/>）

2-3 大和駅周辺のワクワクする未来の姿のイメージ

ここに示したマップは、これまでのワークショップや意見交換で寄せられた声をもとに、取組方針が実践されることで、まちなかに生まれていく将来の姿をイメージとして描いたものです。

こんな場所があったらいい、こんな過ごし方ができたら楽しいといった市民一人ひとりの想いを、具体的な場所や活動と結びつけながら、今後の具体的な取組みや活動を検討していく際のイメージの共有やヒントとして活用していきます。

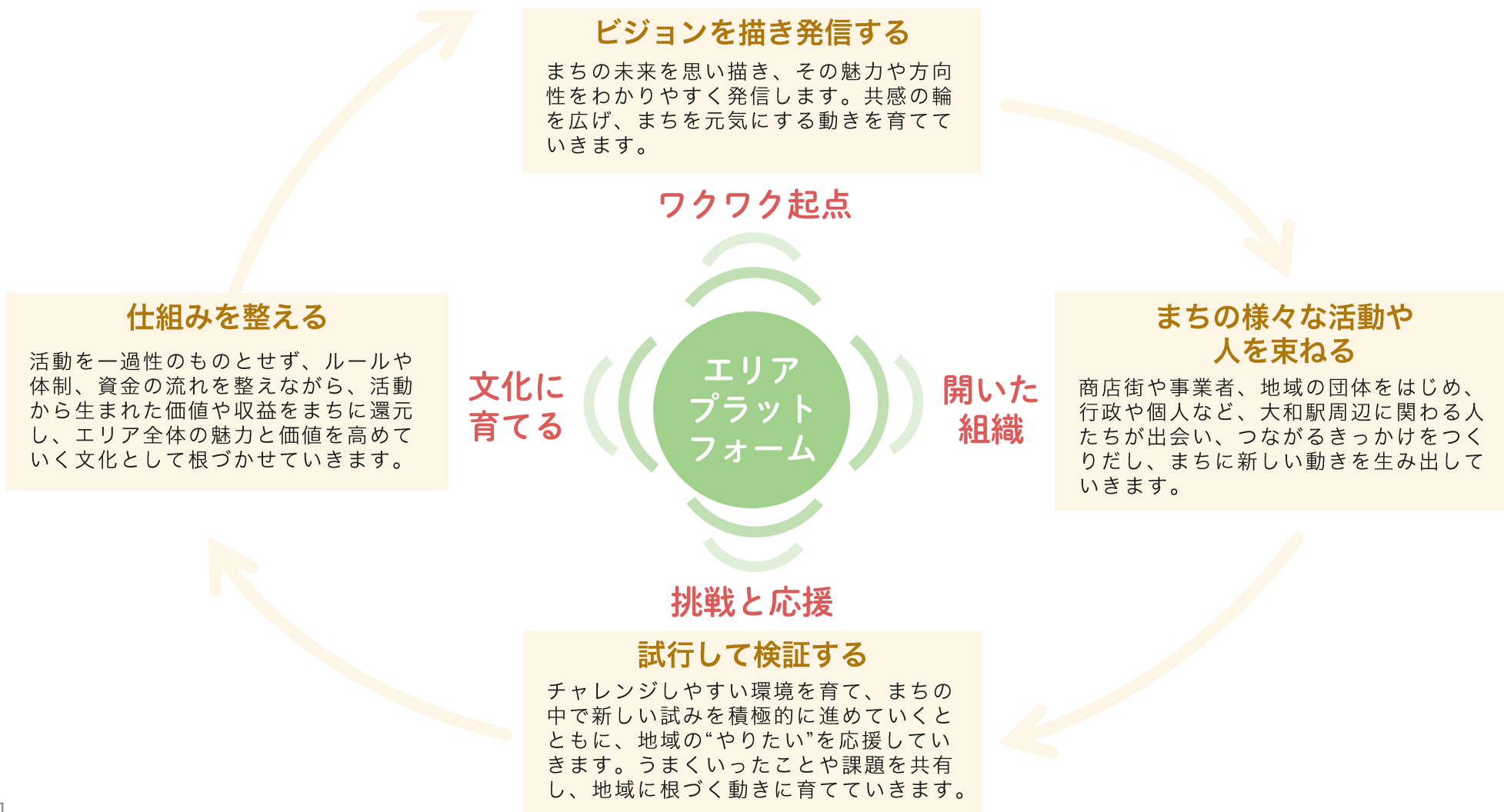
今後、社会実験やさらなる検討を重ねながら、内容を更新していくことを想定しています。





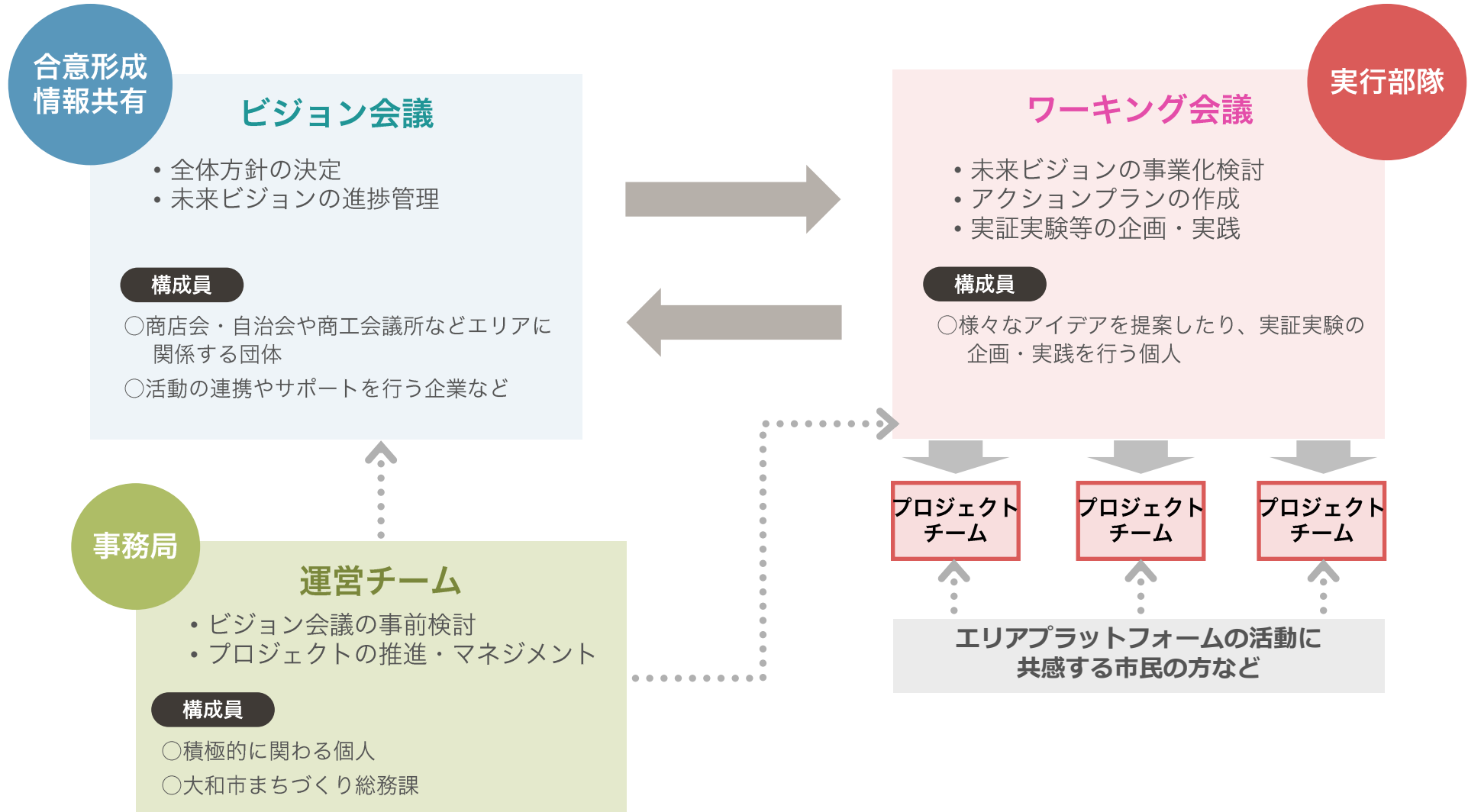
3-1 エリアプラットフォームの役割と取組姿勢

未来ビジョンを実現していくため、エリアプラットフォームは、大和駅周辺に関わる様々な人たちと協働し、未来を共有・共感し合い、行動していくための土台として4つの役割を担います。



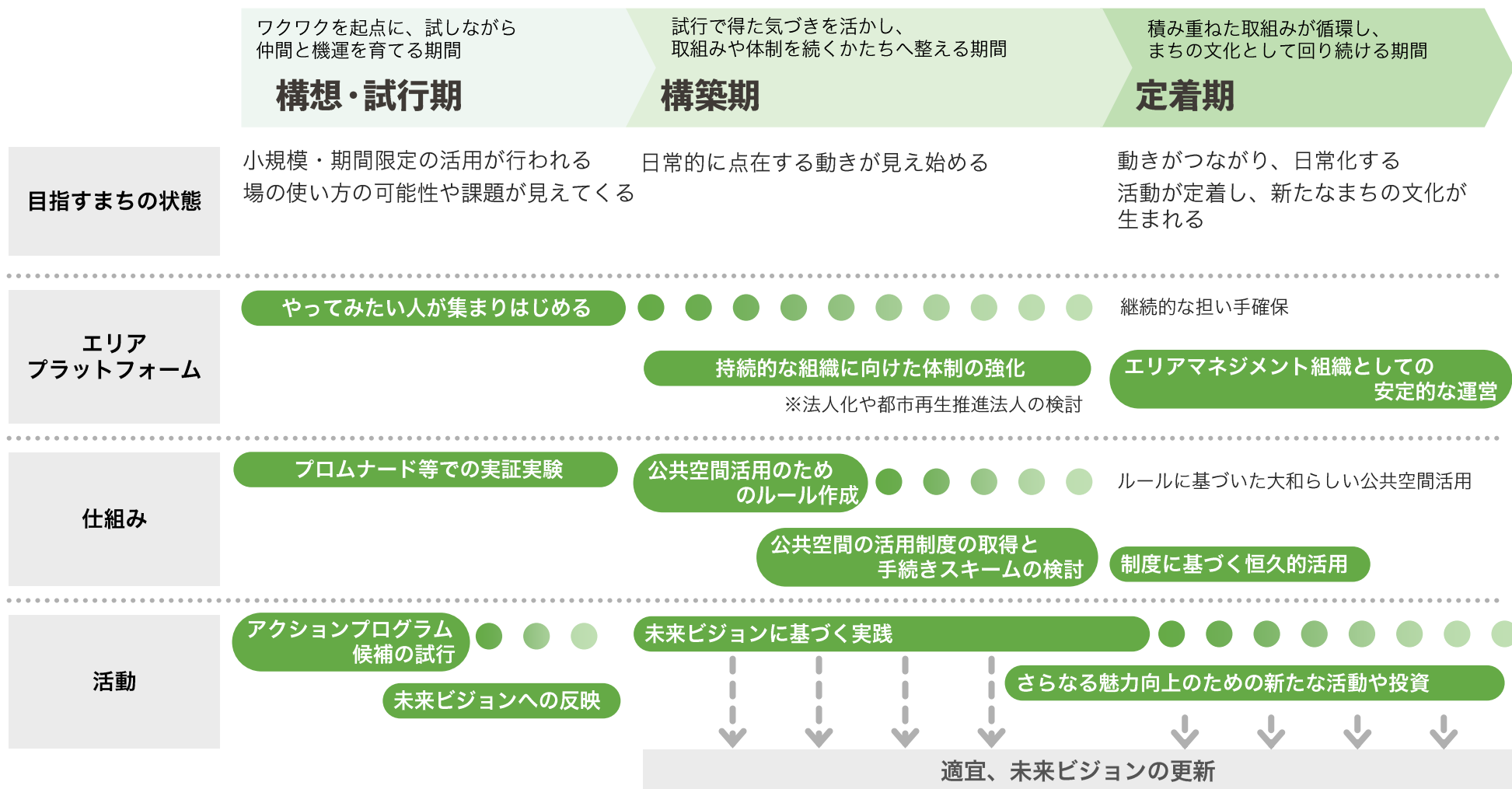
3-2 エリアプラットフォームの体制

実践に向けては、地域の共感と応援を集めながら、より実行力ある体制としていくため、合意形成と・情報共有を行う「ビジョン会議」と実行部隊となる「ワーキング会議」の二輪体制で進めていきます。なお、より多くのプレイヤーとともに実践を進めていくことを目的に、「ワーキング会議」は、関心のある人が入ってきやすいオープンな設えとしていきます。



3-3 ロードマップ

未来ビジョンは、決めて終わりではなく、動かしながら育てていくものです。構想・試行期から構築期、そして定着期へと、取組みのかたちや関わり方も少しずつ変化していきます。



3-4 アクションプログラムの種

ここに示すのはこれまでの話し合いで出てきた、まず実践できるとよいアクションプログラムのアイデアです。今後、ワーキング会議においてさらにみんなのやってみよう！を共有し合い、アクションプログラムの試行や具体化により、未来ビジョンへと反映していきます。



公共空間活用

プロムナードの 日常快適性向上

座り場や日除けの設置、プロムナードの滞在快適性を高めるコンテンツの導入など、立ち止まり滞在したくなる場づくり



公共空間活用

文化・交流

イベント広場としての プロムナード

イベント利用しやすい設備の充実や、利用に関するルールづくり、窓口の一本化など、誰でもプロムナードで出展できる仕組みづくり



情報発信

まちの情報プラットフォーム

駅前のイベントや商店街の情報などが一元的に集まった物理的掲示板やウェブサイトなど、多様なツールを活用したまちの情報発信



商業活性

文化・交流

子育て世代や学生も 楽しい商店街

商店での共通のサインや情報発信、子育て世代も安心して歩ける道づくりなど、入りやすく居心地のよい商店街づくり



企業支援

文化・交流

大和発の文化と産業 の創出・発信

多世代・多ルーツの人々が文化を共有できる交流イベントや、起業支援や空き店舗活用等による新たな大和の資源づくり

